

2024年

介助・同伴が必要な高齢者の公共トイレ利用調査

TOTO株式会社

1 調査概要

2 調査結果

2-1 回答者属性

2-2 利用実態と困りごと

2-3 車いす使用者トイレの利用と気兼ね

2-4 男女共用トイレのニーズ

2-5 意見・要望

3 まとめ

1 調査概要

調査背景

高齢者や知的・発達障害者等の同伴介助や性的マイノリティ等の利用に配慮し、公共トイレにおいて男女共用トイレを設置するよう、国のガイドラインでも示されるようになってきました。異性による介助や同伴が必要な高齢者にとっても、トイレの選択肢がひろがり、使いやすいパブリックトイレが求められています。

調査目的

外出先トイレで、高齢のご親族の介助・同伴をする際の困りごとや利用実態を把握し、新たなトイレのあり方についてのニーズを調査しました。

調査対象者

- ・トイレの利用に介助や見守りが必要な50歳以上の親族がいる方
- ・該当する親族と年に1回以上外出する方
- ・親族がトイレ内で車いすを利用する方は除く

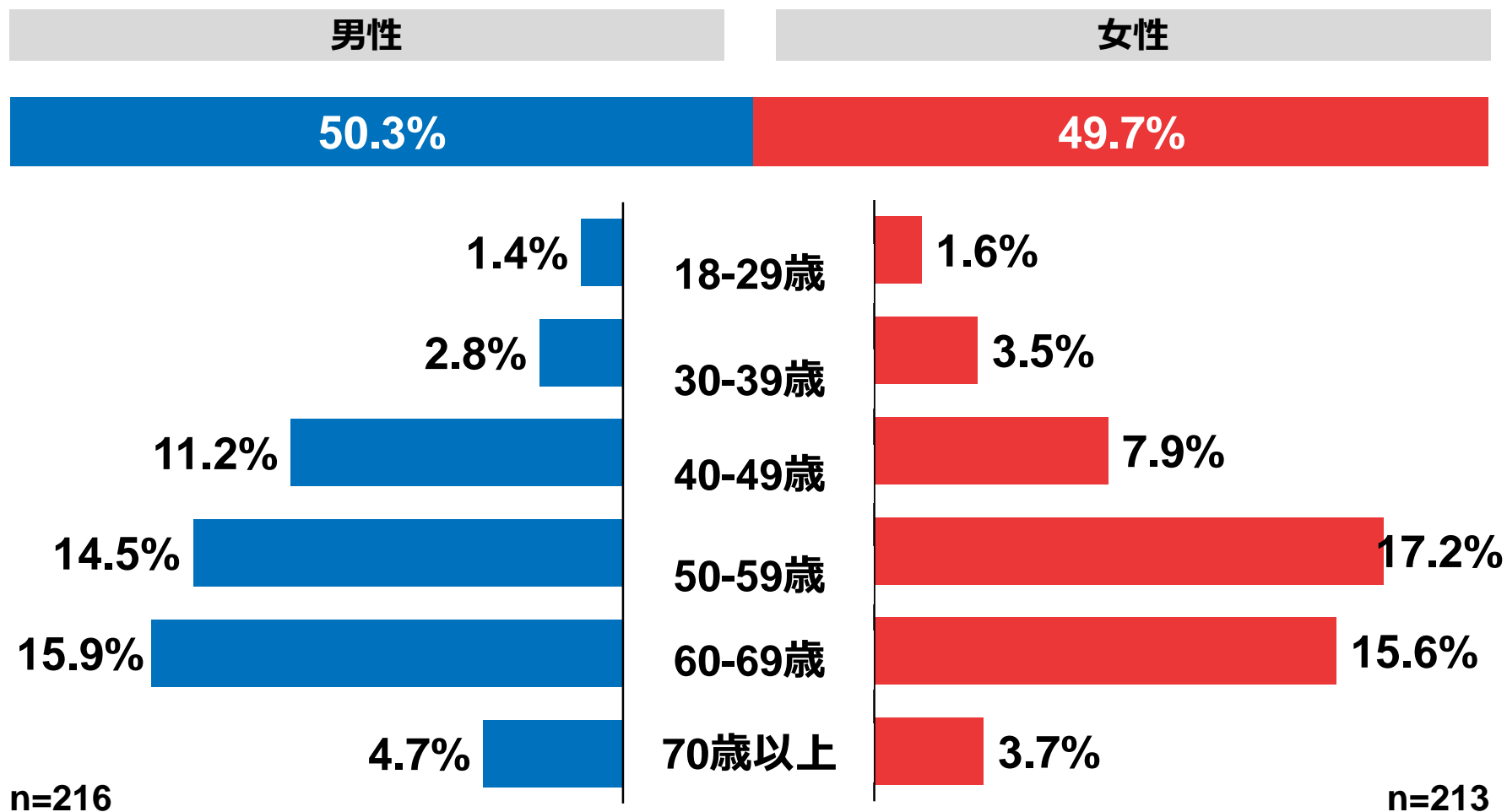
回答者数 回答数:429名（異性介助:211名、同性介助:218名）

調査方法 インターネット調査/全国

実施期間 2024年1月17日～1月19日

2-1 回答者属性 年齢と性別

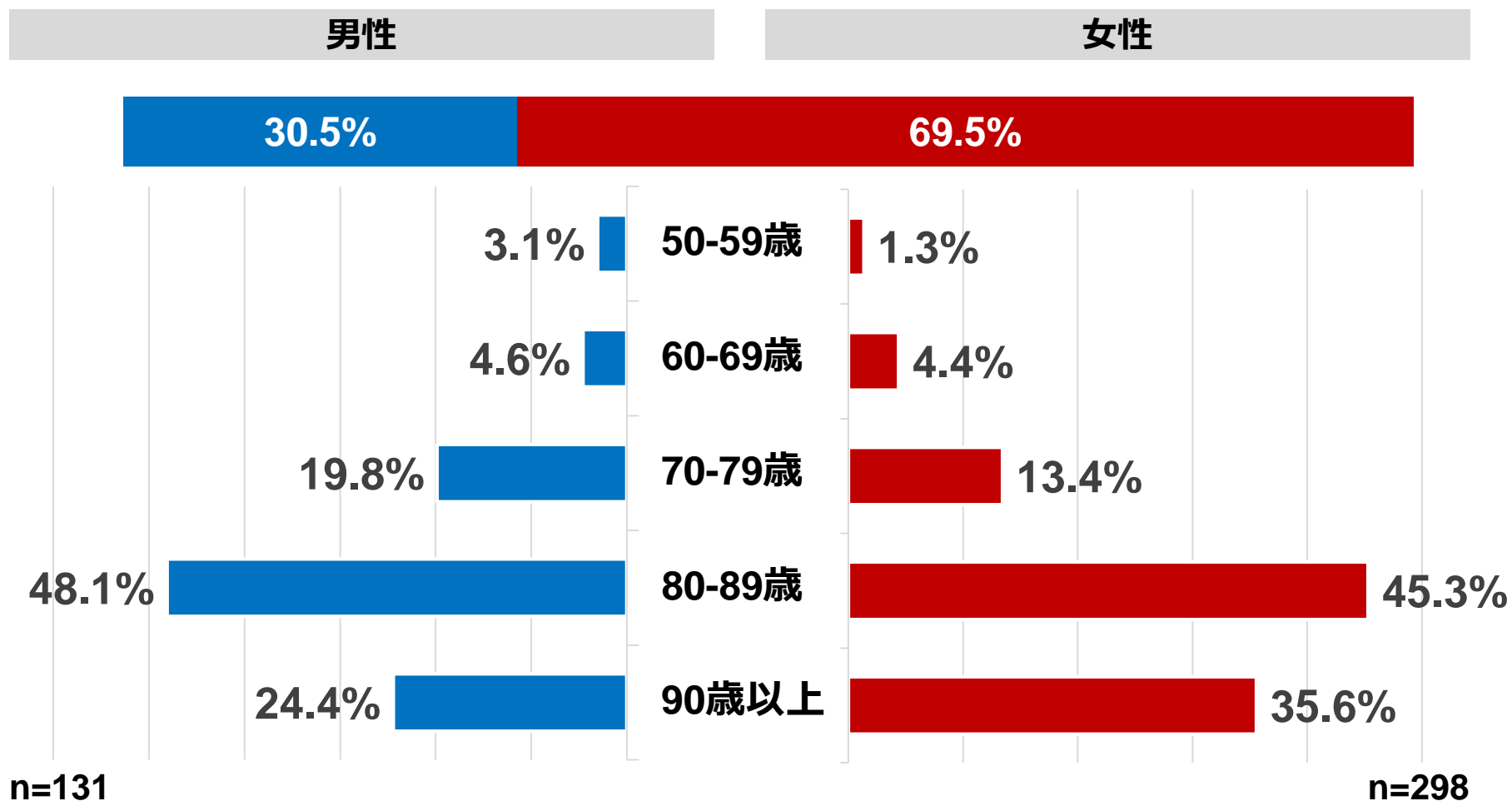
男性・女性の割合はおよそ半々。
回答者は40代～60代が多い。



出典：介助・同伴が必要な高齢者の公共トイレ利用調査 TOTO調べ（2024）

2-1 回答者属性 年齢と性別 【被介助者】

男性30.5%、女性69.5%で、被介助者は女性の割合が多い。
年代は80代～90代が多い。

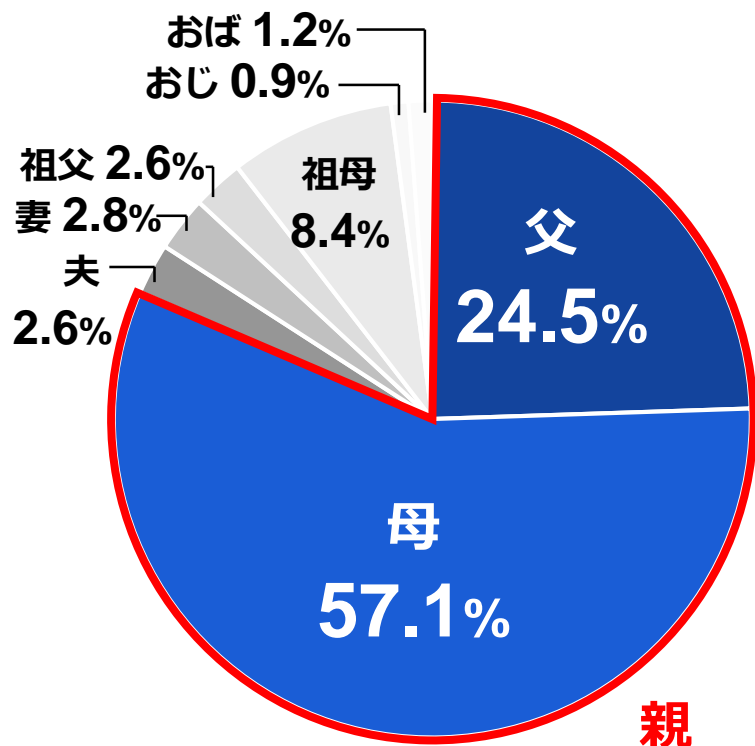


出典：介助・同伴が必要な高齢者の公共トイレ利用調査 TOTO調べ（2024）

2-1 回答者属性 被介助者との続柄と性別の組合せ

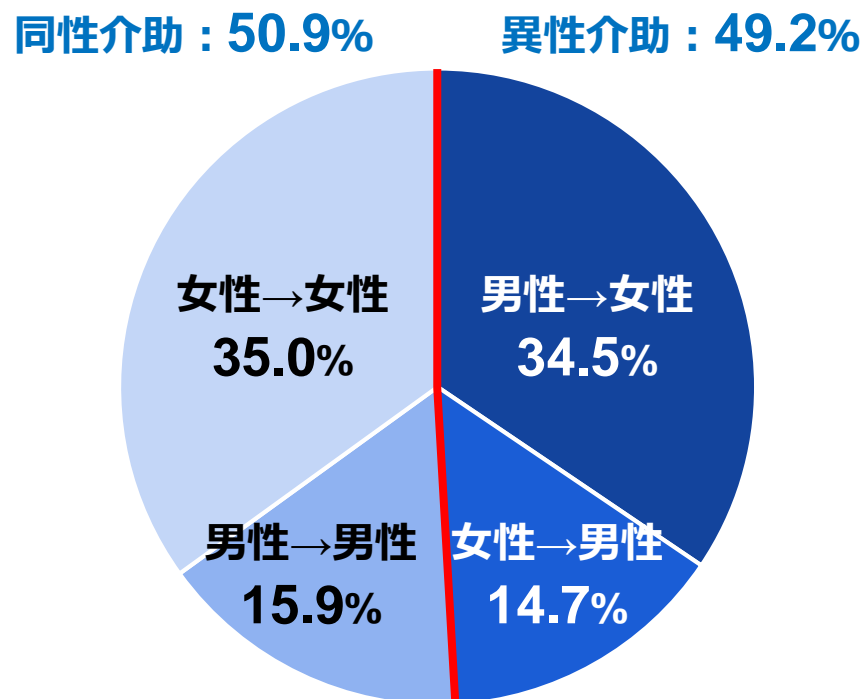
被介助者は親（義理の親も含む）が多い。
介助者と被介助者の性別の組合せは異性介助・同性介助でおよそ半々。

被介助者との続柄 ※義理の続柄を含む



n=429

被介助者との性別の組合せ

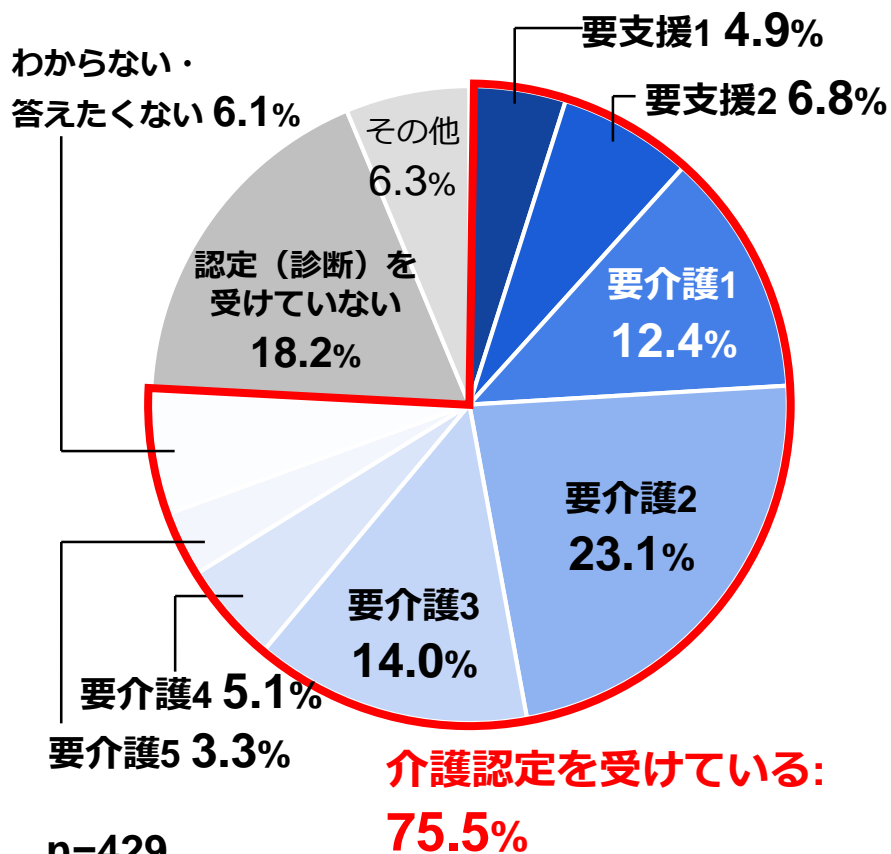


n=429

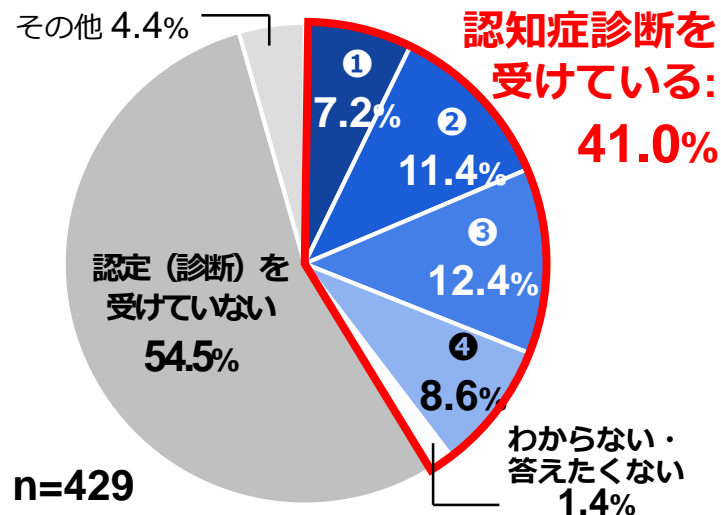
出典：介助・同伴が必要な高齢者の公共トイレ利用調査 TOTO調べ（2024）

介護認定を受けている人は、75.5%。
認知症診断を受けている人は、41.0%

被介助者の介護認定



被介助者の認知症診断・日常生活自立度



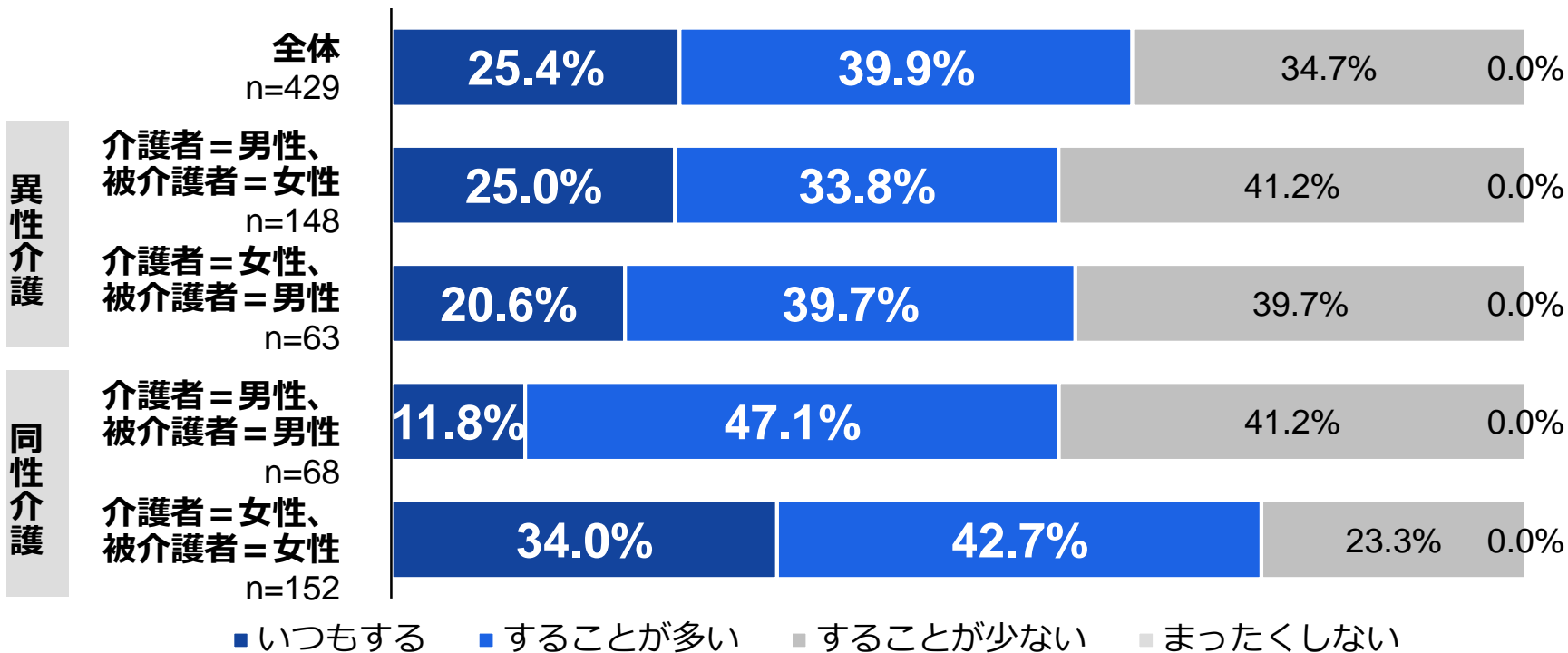
- ① 何らかの認知症の症状を有するが、日常生活はほぼ自立している
- ② 誰かが注意していれば、自立できる（症状：たびたび道に迷う、服薬管理ができない等）
- ③ 日常生活に支障をきたすような症状、行動が時折見られ、介護を必要とする（症状：着替え、食事、排便、排尿が上手にできない等）
- ④ 日常生活に支障をきたすような症状、行動が頻繁に見られ、常に介護を必要とする（症状：着替え、食事、排便、排尿が上手にできない等）

出典：介助・同伴が必要な高齢者の公共トイレ利用調査 TOTO調べ（2024）

回答者65.3%は、介助や同伴を「いつもする」「することが多い」。

Q

外出先の公共トイレで介助や同伴（つきそい・見守り）を必要とされるご親族の方と一緒に外出される場合に、介助や見守りをする頻度はどの程度ですか。直近1年についてお考えください。



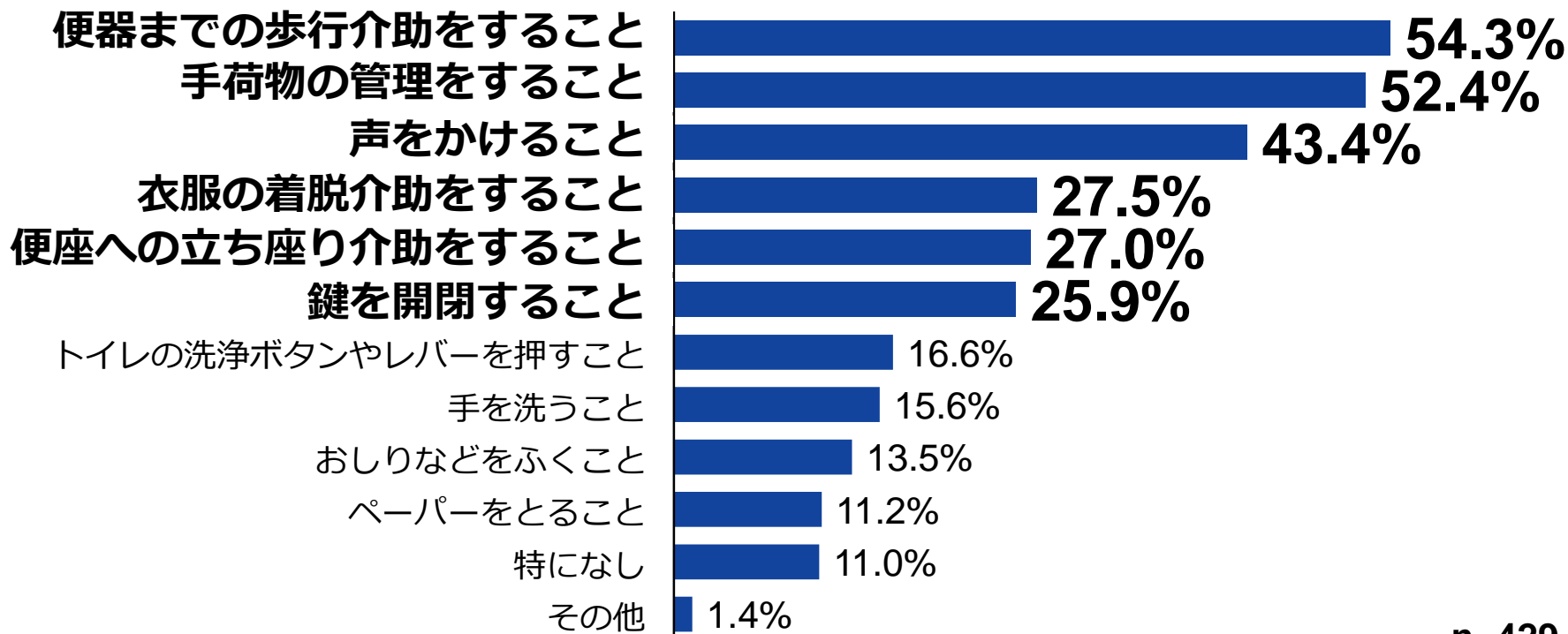
出典：介助・同伴が必要な高齢者の公共トイレ利用調査 TOTO調べ（2024）

2-2 利用実態と困りごと 介助・見守りの内容

便器までの歩行、手荷物の管理、声かけ、衣服の着脱、便座への立ち座り、鍵を開閉するなどの行為について介助や見守りが必要と回答。

(複数回答)

Q | 外出先の公共トイレで介助や同伴をされるご親族は、どのような行為について介助や見守りを必要とされていますか。

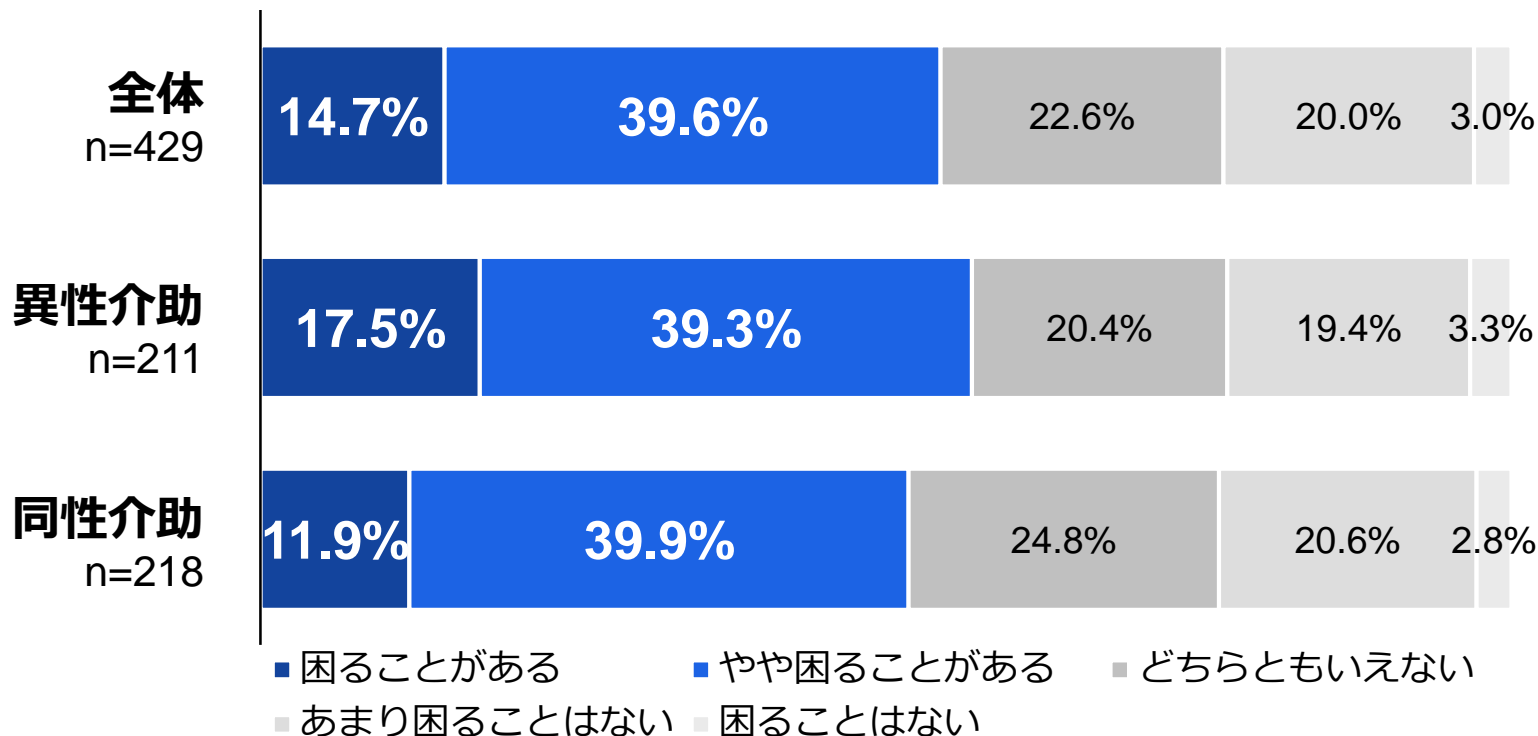


n=429

出典：介助・同伴が必要な高齢者の公共トイレ利用調査 TOTO調べ（2024）

外出先のトイレに困っているのは全体では54.3%。
異性介助は同性介助に比べ困りごとを感じている人の割合がやや高い。

Q | あなたは、ご親族と一緒に外出し、公共トイレを利用するとき、困ることはありますか。



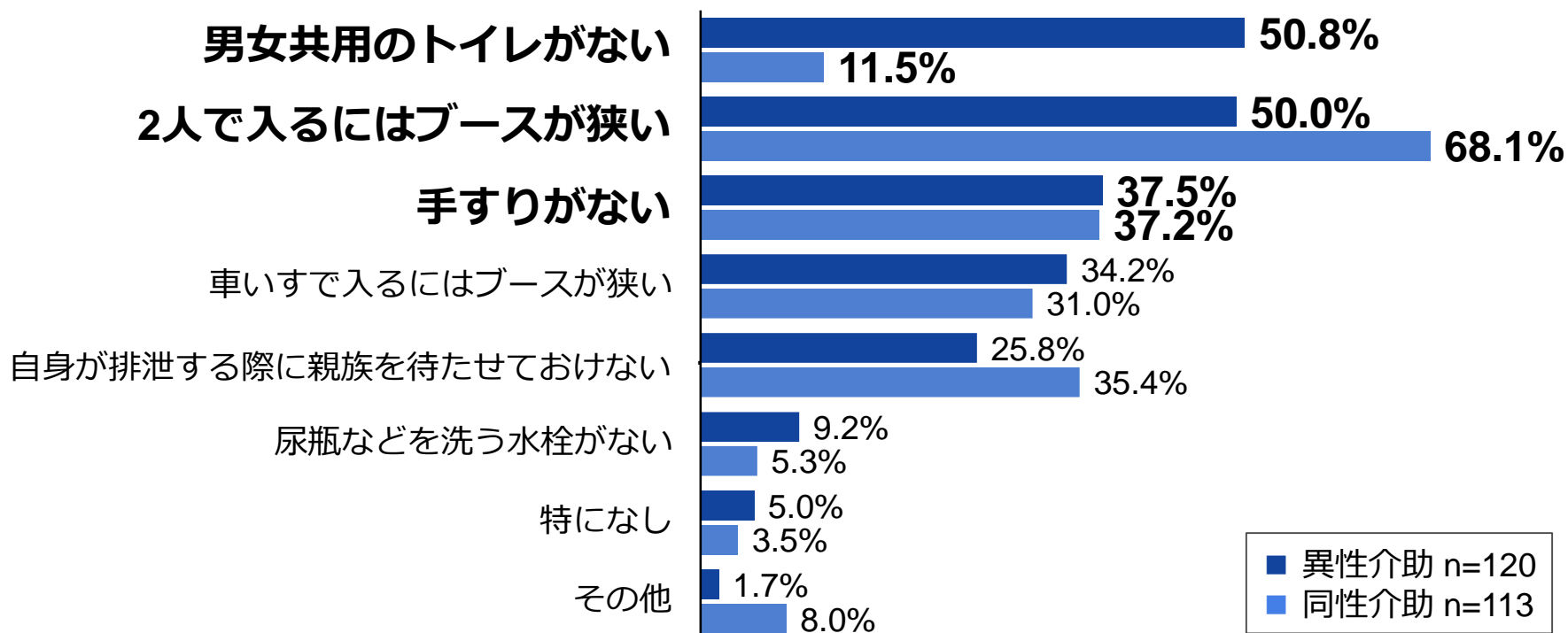
出典：介助・同伴が必要な高齢者の公共トイレ利用調査 TOTO調べ（2024）

2-2 利用実態と困りごと 【異性介助／同性介助】

異性介助では「男女共用のトイレがないこと」が1位の困りごと。
「2人で入る／車いすで入る にはブースが狭い」は共通の困りごと。

ご親族と一緒に外出し、公共トイレを利用するとき、困ることが「ある」、「やや困ることがある」(複数回答)と回答した方にお伺いします。

Q | あなたは、ご親族と一緒に外出し、公共トイレを利用するときに困ることは何ですか。

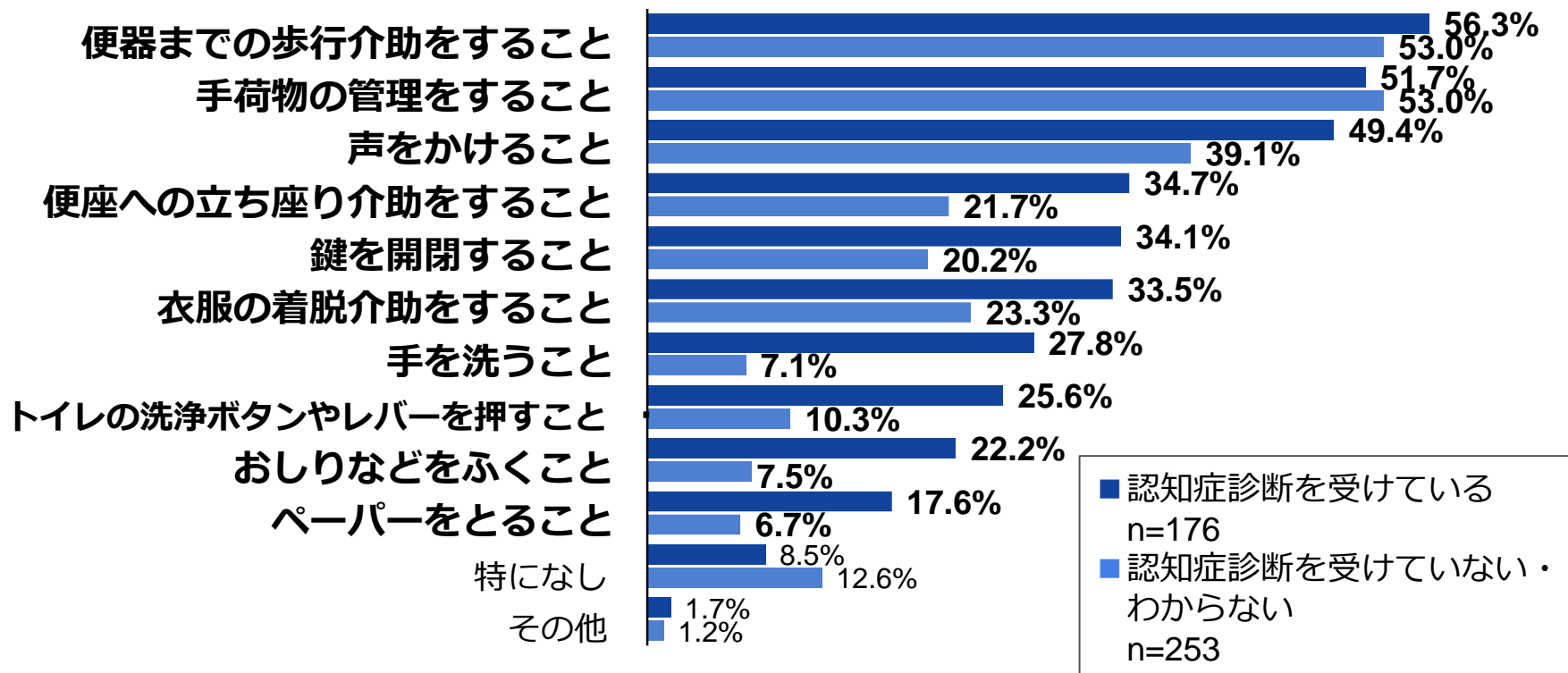


出典：介助・同伴が必要な高齢者の公共トイレ利用調査 TOTO調べ（2024）

認知症診断を受けている被介助者はトイレ行為の全般に、
介助・見守りが必要とする回答が多い。

(複数回答)

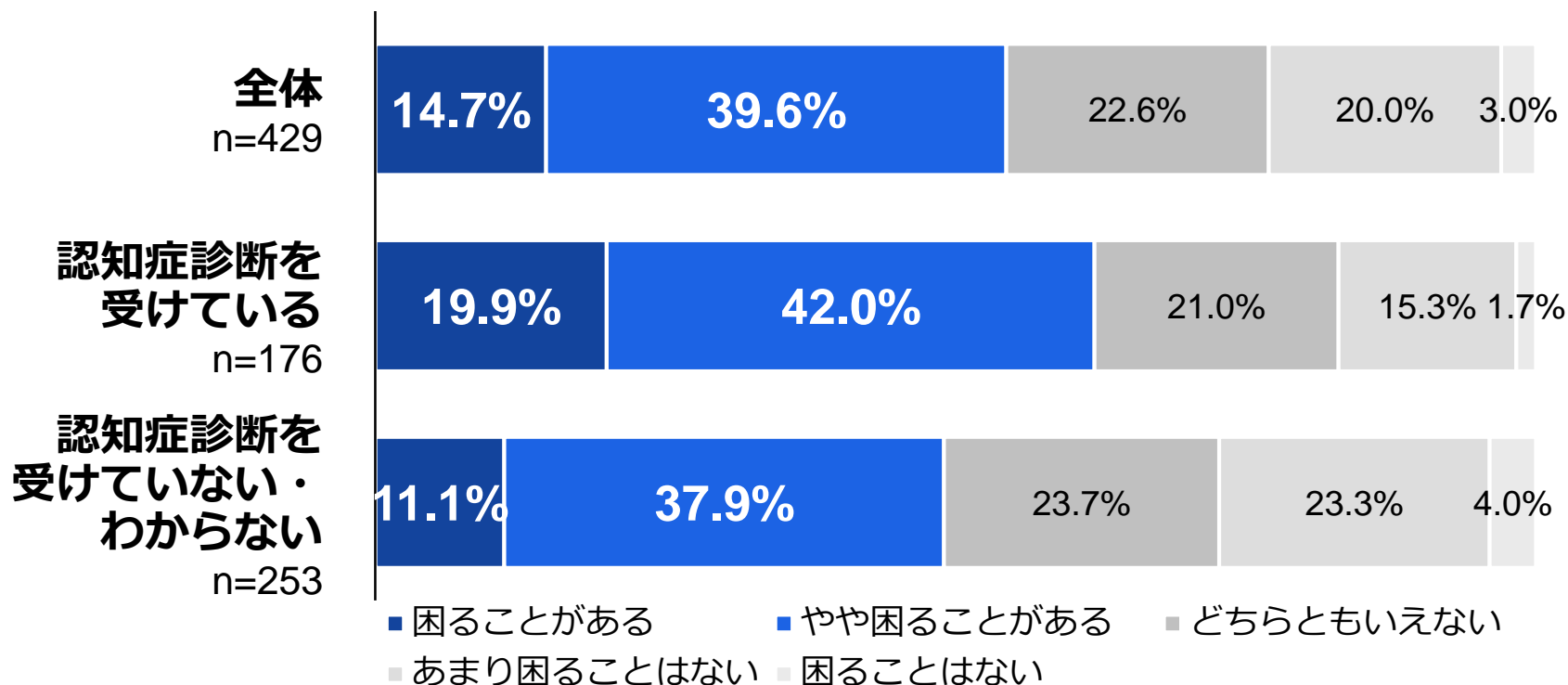
Q | 外出先の公共トイレで介助や同伴をされるご親族は、
どのような行為について介助や見守りを必要とされていますか。



出典：介助・同伴が必要な高齢者の公共トイレ利用調査 TOTO調べ（2024）

認知症診断を受けている被介助者と利用の場合に
困りごとの割合が高い。

Q | あなたは、ご親族と一緒に外出し、公共トイレを利用するとき、
困ることはありますか。

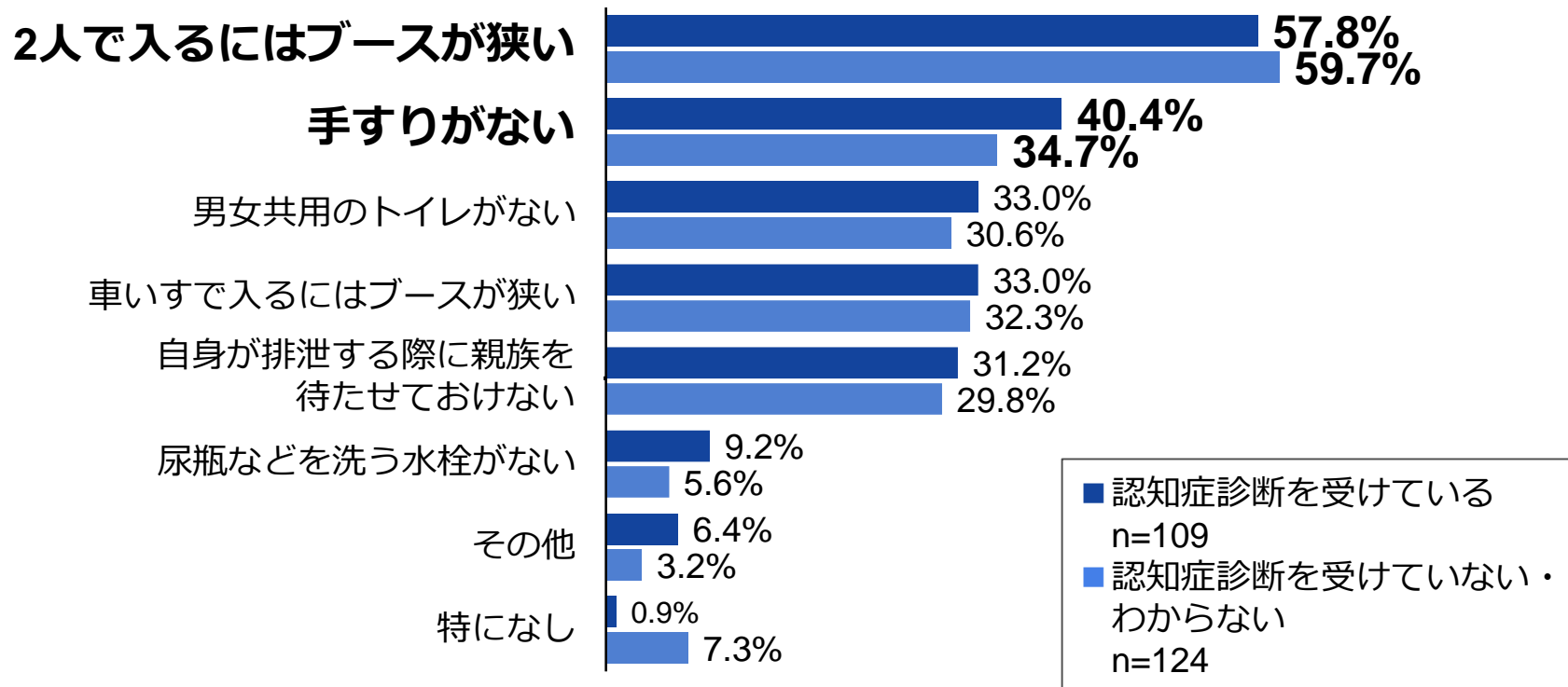


出典：介助・同伴が必要な高齢者の公共トイレ利用調査 TOTO調べ（2024）

「2人で入るにはブースが狭い」が1位、 次に「手すりがない」が多い。

ご親族と一緒に外出し、公共トイレを利用するとき、困ることが「ある」、「やや困ることがある」(複数回答)と回答した方にお伺いします。

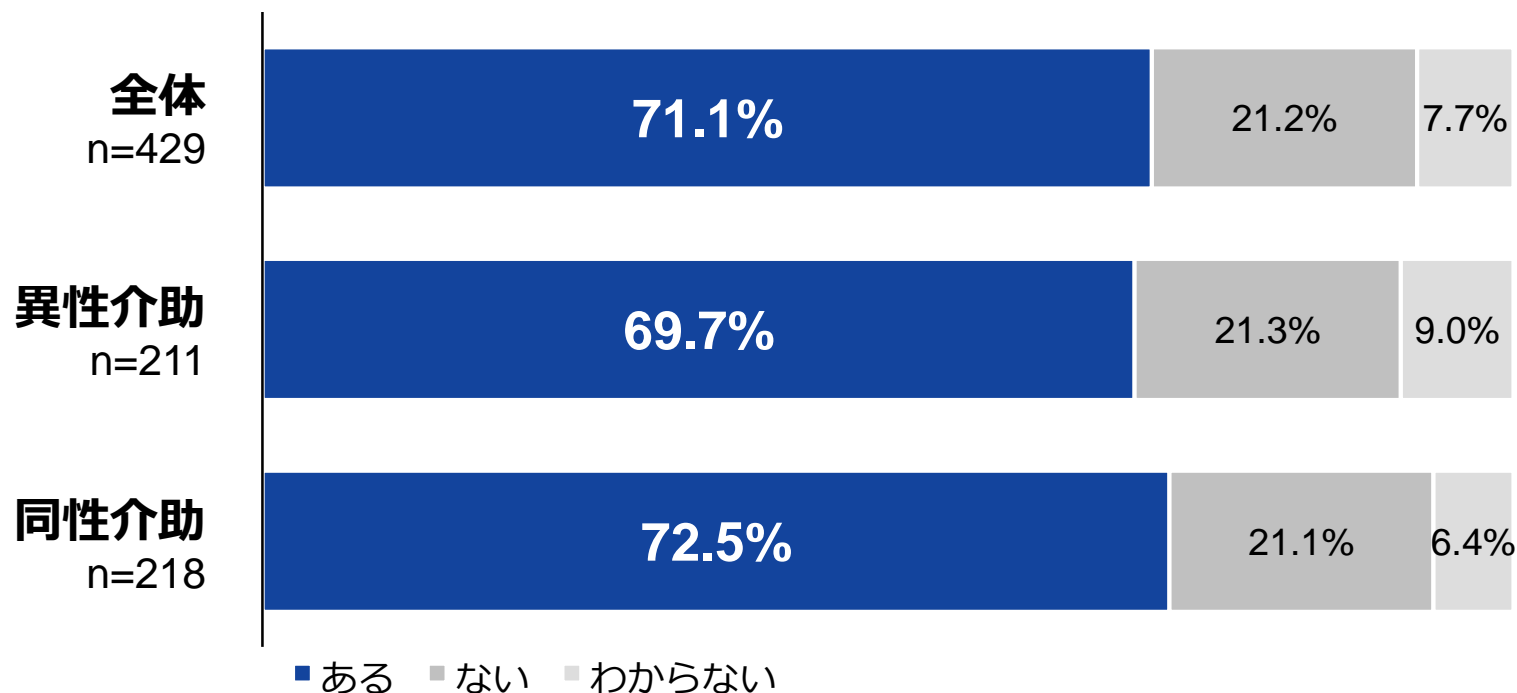
Q | あなたは、ご親族と一緒に外出し、公共トイレを利用するときに困ることは何ですか。



出典：介助・同伴が必要な高齢者の公共トイレ利用調査 TOTO調べ（2024）

異性介助、同性介助ともに約7割が 車いす使用者トイレを利用することがあると回答。

Q | あなたは、ご親族と一緒に外出する際、車いす使用者トイレを利用することがありますか。

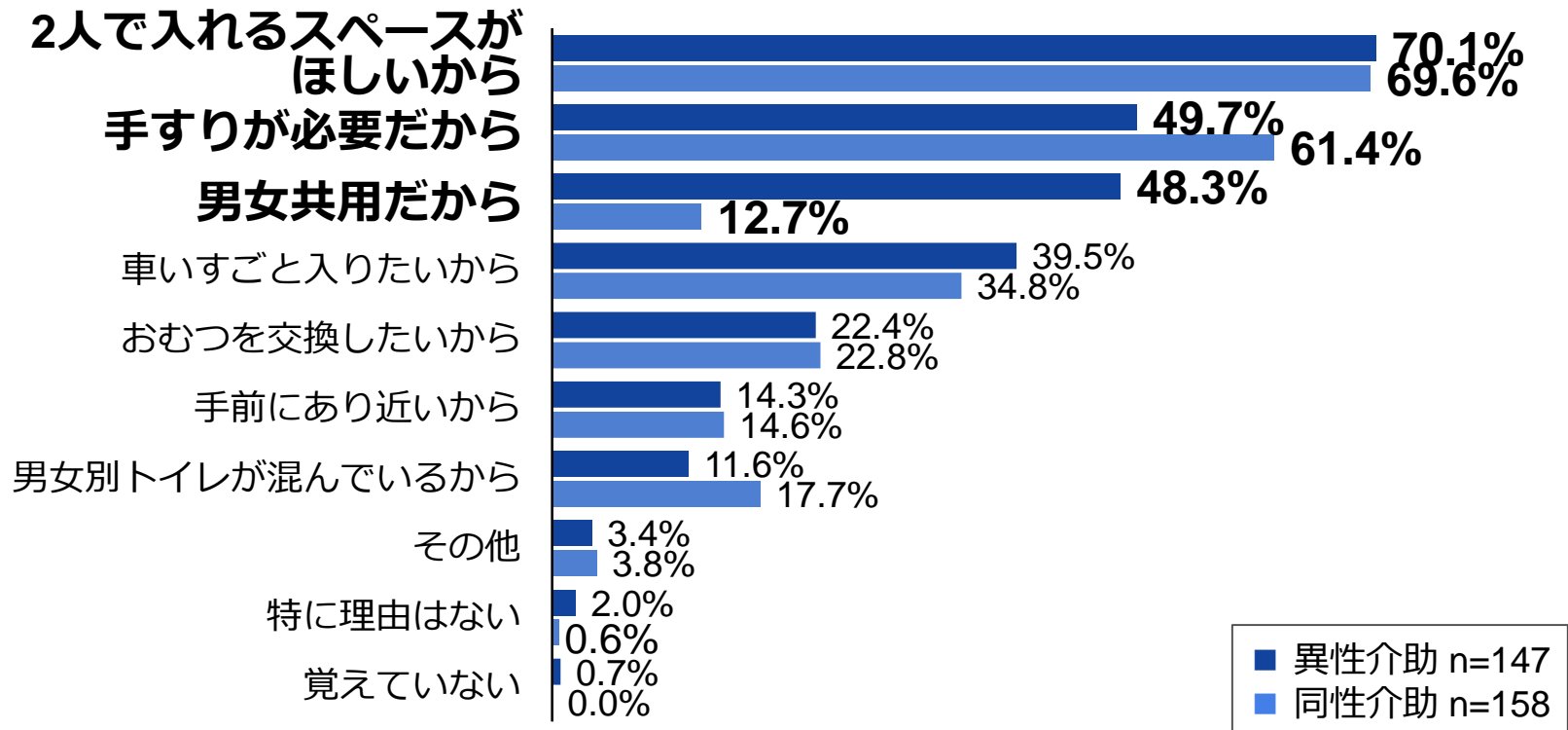


出典：介助・同伴が必要な高齢者の公共トイレ利用調査 TOTO調べ（2024）

スペースと手すりの必要性から車いす使用者トイレを利用している。
異性介助は男女共用であることが理由の第3位として挙げられた。

車いす使用者トイレを利用することが「ある」と回答した方にお伺いします。 (複数回答)

Q | 車いす使用者トイレを利用する理由をお聞かせください。



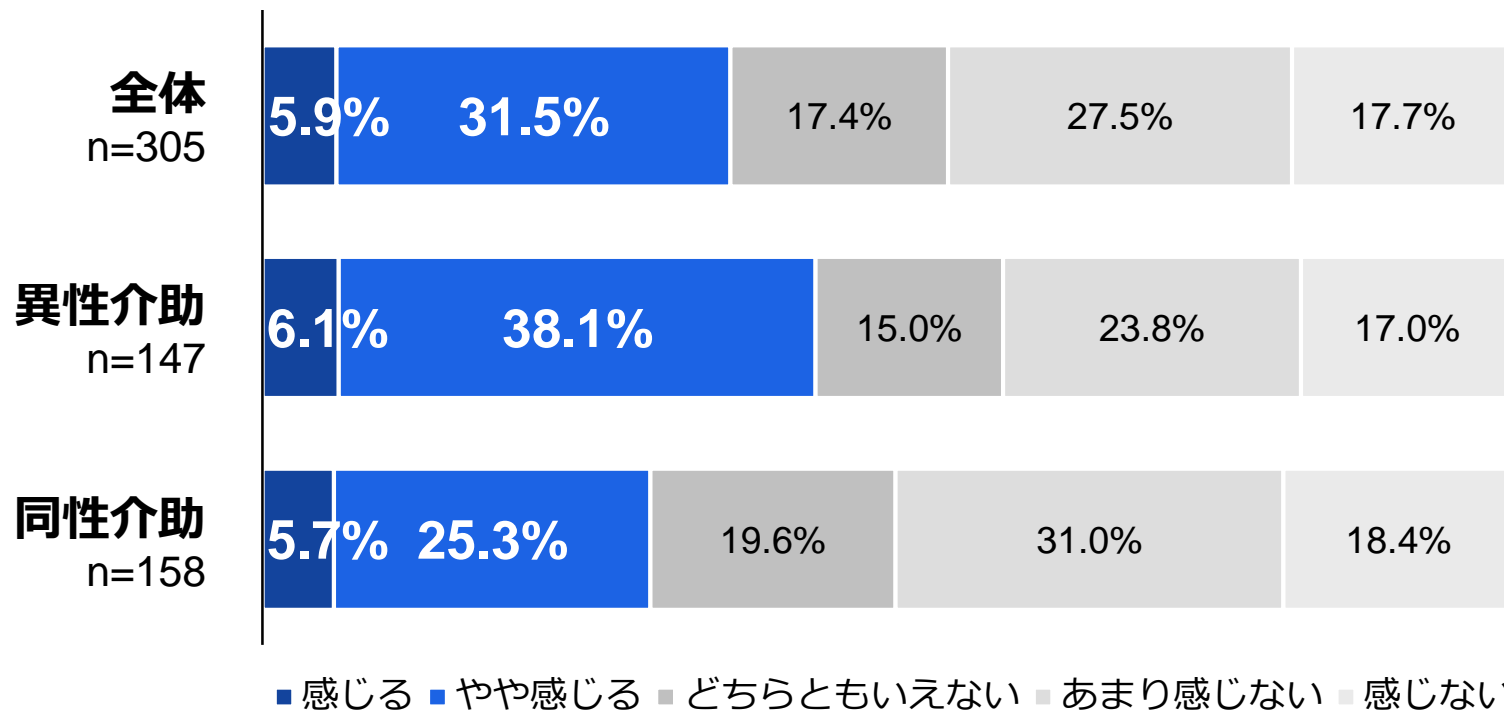
出典：介助・同伴が必要な高齢者の公共トイレ利用調査 TOTO調べ (2024)

2-3 車いす使用者トイレの利用と気兼ね 【異性介助／同性介助】

全体では車いす使用者トイレの利用に37.4%が気兼ねを感じている。
異性介助は同性介助に比べ気兼ねを感じている人の割合が高い。

車いす使用者トイレを利用することが「ある」と回答した方にお伺いします。

Q | 車いす使用者トイレを利用する際、
“気兼ねやためらい”を感じますか。



出典：介助・同伴が必要な高齢者の公共トイレ利用調査 TOTO調べ（2024）

2-3 車いす使用者トイレの利用と気兼ね

車いす使用者などに気兼ねをしながら利用している。
 介助が必要であることが見た目にわかりづらいため、周囲の目を気にしている。

車いす使用者トイレを利用することに気兼ねやためらいを「感じる」、**「やや感じる」**と回答した方にお伺いします。

Q | 車いす使用者トイレを利用する際、あなたが感じる**“気兼ねやためらい”**はどのようなものですか。具体的にお聞かせください。

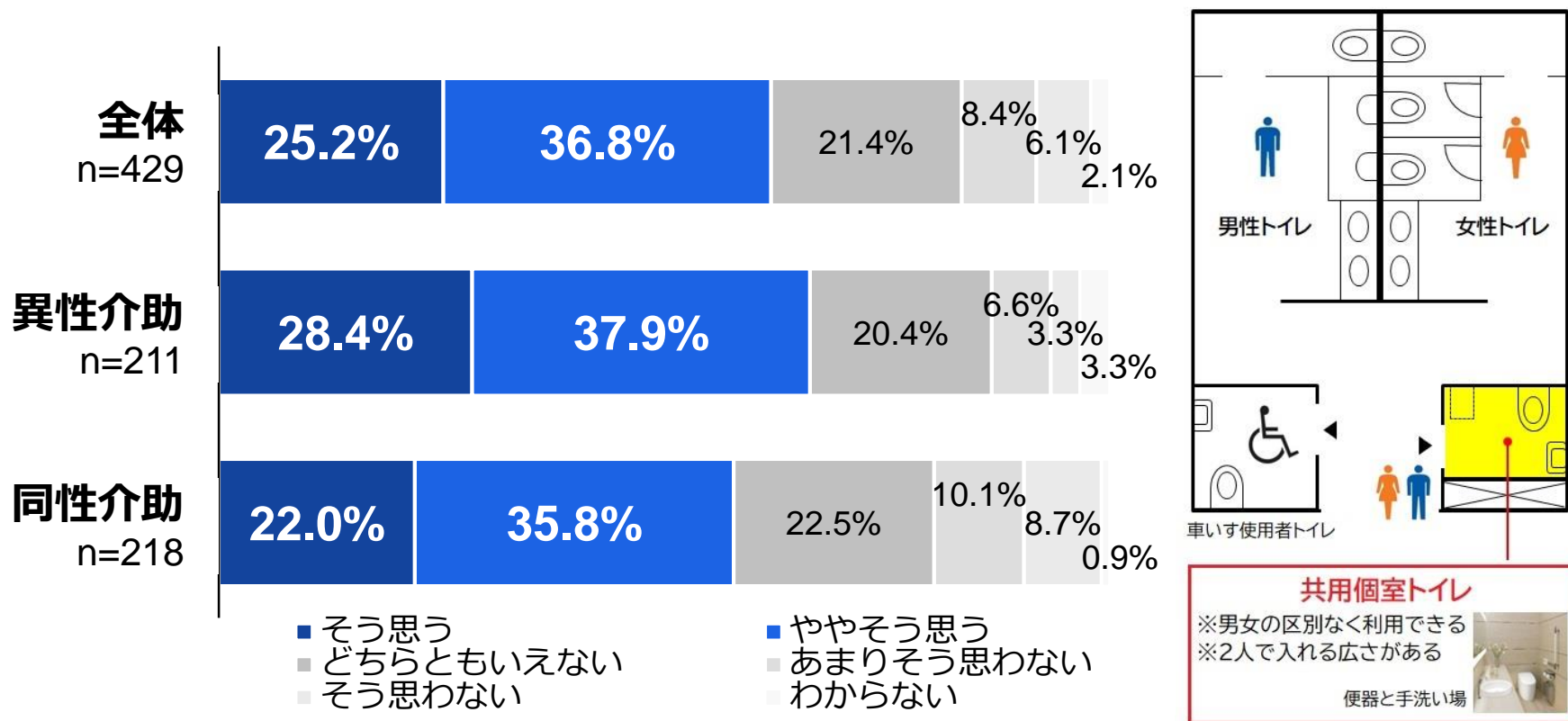
	フリーコメント	回答者	被介助者
異性介助	男女なのでいくら親でも気が引ける。	女性50代	父
	他に必要とされる方々が来るかもしれない。	男性60代	母
	2人で入ると、他人さんの目が気になります。	女性70代以上	夫
	混んでいるときに申し訳ない気持ち。	女性60代	父
	もっと重い症状の方を待たせるかもしれないと思うこと。	男性50代	母
	時間がかかり過ぎて迷惑かけてしまう。	男性60代	母
	あまりゆっくり入れないのがつらい。	女性60代	夫
同性介助	次の利用者が外で待っている可能性があると思い、排尿、排泄を急がせてしまうこと。	男性50代	父
	一緒について入らないと出来ないって思ってもらえないことがあるから。見た目は母一人でも大丈夫そうに見えてしまうから。	女性40代	母
	もっと不自由な方がいるのに、使ってもいいのだろうかとか気兼ねする。	男性50代	父
	周りの目が気になる。	男性50代	父
	車いすや杖を使用していないので、介護が必要と思われてない気がする。また時間がかかる。	女性50代	母
	入りにくい、出たときに待っている人がいないか気になってゆっくりトイレが出来ないらしい。	男性40代	祖父
車いす使用の方が来たら困る。時間がかかるので困る。	女性50代	母	

出典：介助・同伴が必要な高齢者の公共トイレ利用調査 TOTO調べ（2024）

2-4 男女共用トイレのニーズ 【異性介助／同性介助】

男女共用個室トイレについて異性介助では66.3%が利用意向を示した。
「あまりそう思わない」「そう思わない」は全体で14.5%。

Q | 男性／女性トイレや車いす使用者トイレとは別に、性別に関わりなく利用できる個室トイレがあるとしたら、あなたは利用したいと思いますか。



出典：介助・同伴が必要な高齢者の公共トイレ利用調査 TOTO調べ（2024）

2-4 男女共用トイレのニーズ 【異性介助／同性介助】

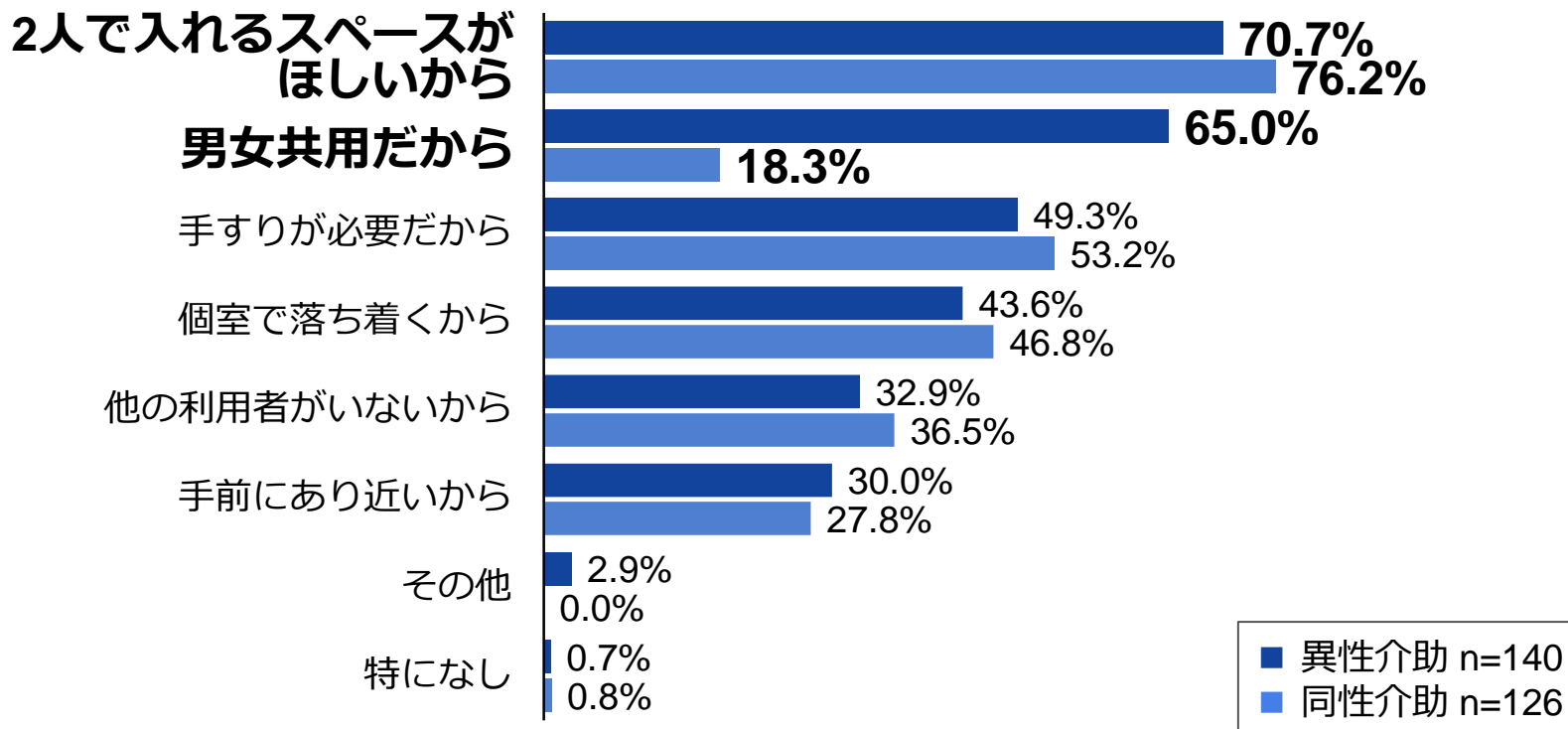
異性介助、同性介助ともに、2人で入れるスペース、手すり設置が主な理由。
異性介助では「男女共用だから」という理由が第2位に挙げられている。

性別に関わりなく利用できる個室トイレの利用について

(複数回答)

「そう思う」、「ややそう思う」と回答した方にお伺いします。

Q | 利用したいと思う理由をお聞かせください。



出典：介助・同伴が必要な高齢者の公共トイレ利用調査 TOTO調べ（2024）

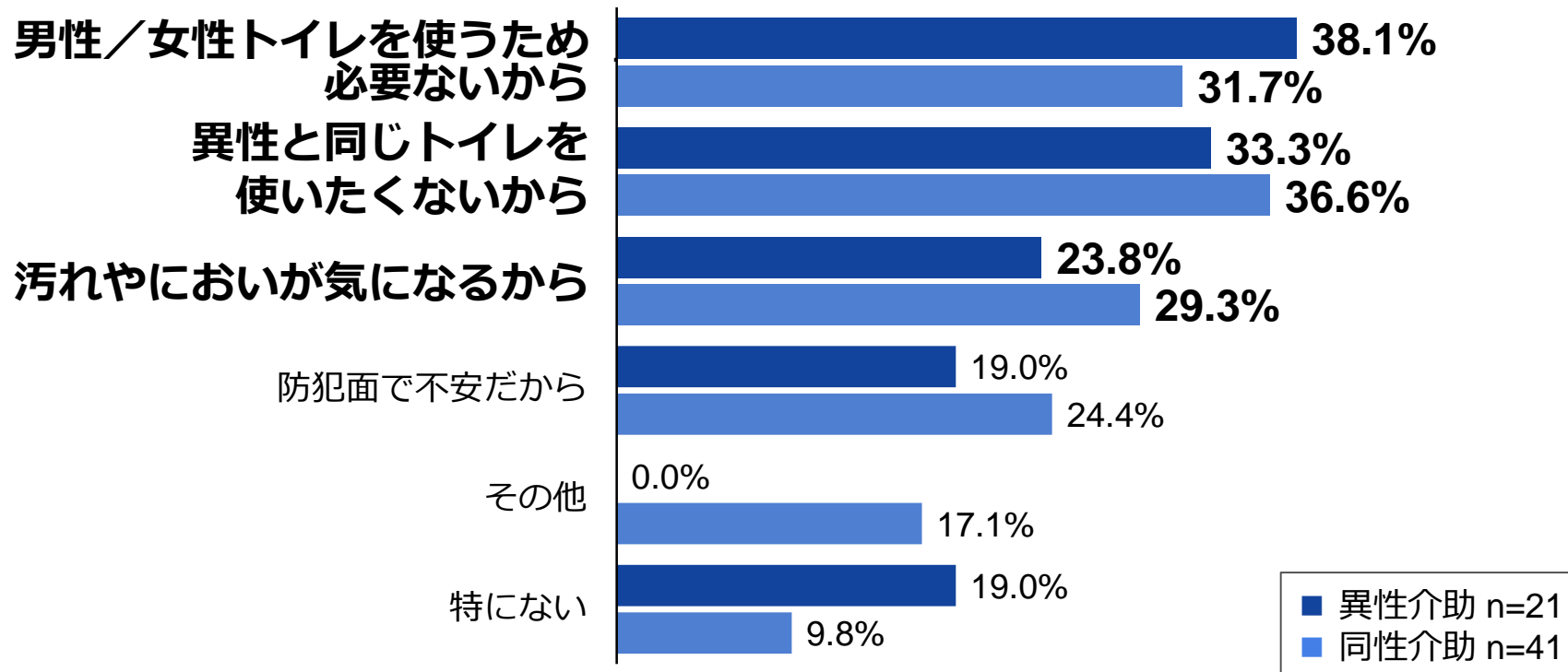
男性／女性トイレを使う、異性と同一トイレを使いたくない、 汚れやにおいが気になる、が主な理由。

性別に関わりなく利用できる個室トイレの利用について

(複数回答)

「あまりそう思わない」、「そう思わない」と回答した方にお伺いします。

Q | 利用したいと思わない理由をお聞かせください



出典：介助・同伴が必要な高齢者の公共トイレ利用調査 TOTO調べ（2024）

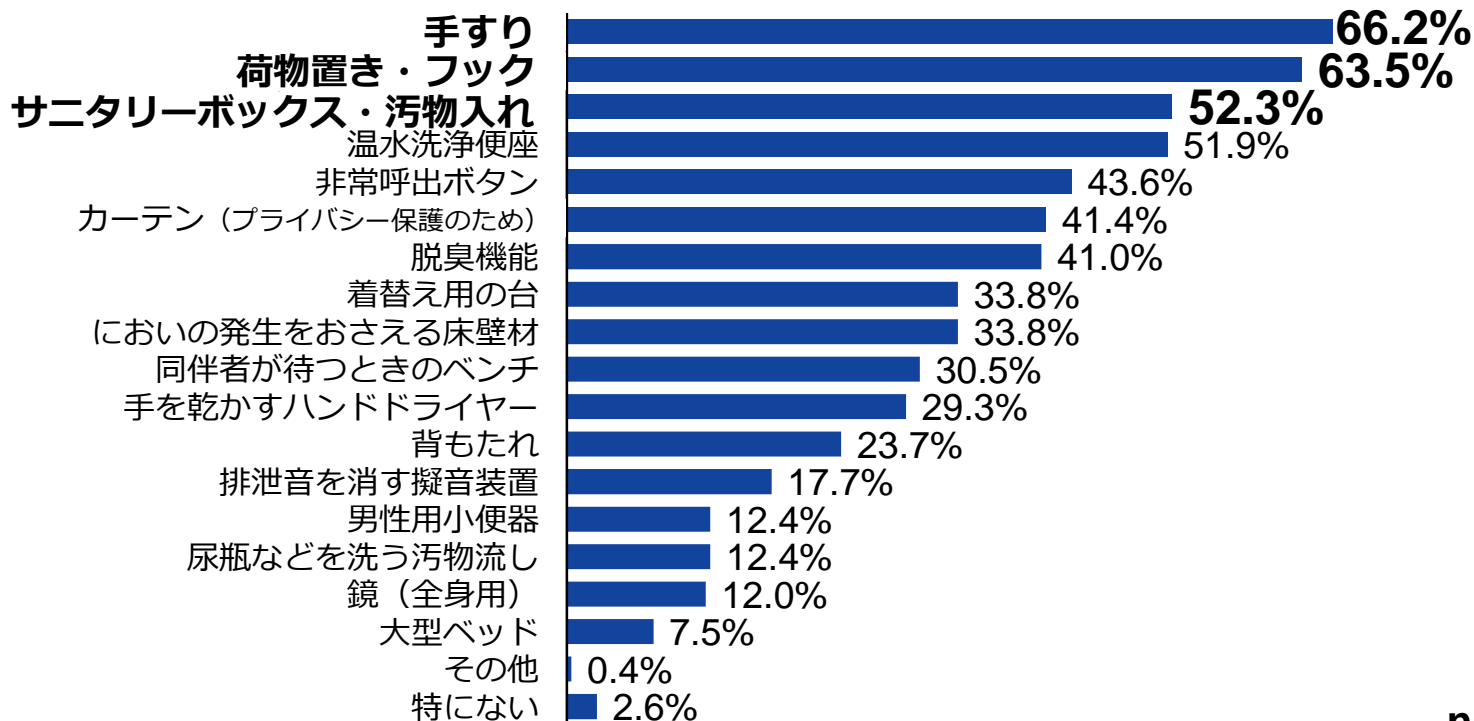
2-4 男女共用トイレのニーズ

手すり、荷物置き・フックの設置要望が高い。
汚物入れの設置要望が52.3%で3位。

性別に関わりなく利用できる個室トイレの利用について
「そう思う」、「ややそう思う」と回答した方にお伺いします。

(複数回答)

Q | 性別に関わりなく利用できる個室トイレに、
設置してほしい設備や機能はありますか。



n=266

出典：介助・同伴が必要な高齢者の公共トイレ利用調査 TOTO調べ (2024)

Q | 介助が必要なご親族と公共トイレを利用することについて、ご意見・ご希望があればお聞かせください。

トイレの個数に関すること

	フリーコメント	回答者	被介助者
異性介助	多機能トイレの数が少ないので待つ事が多く、また介助をしながらの排せつには時間がかかるので次の人を待たせている事が気になる。	女性60代	父
	多機能トイレを増やして欲しい。	男性50代	母
	時間がかかること、緊急性があるので複数あると助かります。	男性70代以上	母
	多機能トイレの数が少ない。せめて2つは備えて欲しい。	女性70代以上	夫
	様々な場所で多機能トイレが備えてあるとありがたいと思う。	女性50代	父
	多機能トイレが少なく、外出をためらっているので増やして欲しい。	女性40代	父
同性介助	多機能トイレが空いていないことが多い。	女性50代	母
	今後このようなトイレが増えると、ここを利用することが当たり前になって、さらに気兼ねなく使えると思う。	女性60代	母
	介助のためのトイレが少なすぎて困っている。	女性60代	母
	スペース上難しいとは思いますが、共用トイレが2ヶ所は欲しい。	女性50代	母
	数が少ないので他に使用したい人が来るのではと気になってしまうので、各フロア毎に多機能トイレを設置してほしい。	女性50代	母
	高齢化が進むとこうしたトイレを利用したい人が多くなる。1室だけでなく設置個数が増えるといいと思います。	女性60代	母

出典：介助・同伴が必要な高齢者の公共トイレ利用調査 TOTO調べ（2024）

2-5 意見・要望

男女別に関すること

	フリーコメント	回答者	被介助者
異性介助	最初は父親と一緒にトイレに入ることにはためらいがありましたが、車いすではない介助が必要なトイレがあると便利だと思います。	女性60代	父
	男女共有が、あまりない。	女性70代以上	夫
	性別に関係なく使えるトイレが便利。	男性60代	母
	ドアまで付き添えて、その付近で待てる場所があると助かる。	男性60代	母
	トイレの中まで一緒に入ることには抵抗がある。	女性60代	父
	他人の目を気にしないでいいトイレがあればいいですね。	女性70代以上	夫
	女性も父と入れるトイレがあるととても助かります。	女性40代	父
	男女兼用のトイレが多くあれば異性の介護がしやすい。	男性40代	母
通院している病院には男性用か女性用のトイレしかないので、女の私は父のトイレ介助ができません。兄に病院に付き添ってもらっているのですが、兄が行けない時は困っています。もし男女兼用トイレがあればすごく助かりますね。	女性50代	父	
同性介助	男女別がいい。	女性50代	母

出典：介助・同伴が必要な高齢者の公共トイレ利用調査 TOTO調べ（2024）

トイレの広さに関すること

	フリーコメント	回答者	被介助者
異性介助	広いスペースが必要です。二人以上で出入りし、かつ車いす等を使用する場合はかなり広いスペースが必要です。その点を考慮したトイレスペースがあると大変助かります。	男性30代	祖母
	高齢者と介助者が一緒に入って介助しやすいスペースがほしい。	男性50代	母
	ゆったりと介助できるスペースが欲しいと感じる。	男性40代	祖母
	広めの個室を利用したいです。	女性40代	父
	オムツを交換できるスペースがあれば大丈夫と思います。	男性50代	母
	広いスペースとプライバシー。	男性50代	母
同性介助	介助の人が入りやすいよう広さが必要。	女性20代	祖母
	二人でも余裕で入れる広さが絶対に必要です。	男性60代	父
	今はほぼ自立していますが下着を汚したりすることはままあります。めまいがすることやふらつくことも増え、つきそいたいのですが公共施設のトイレが狭いので私が入るとドアが閉まらないと嫌がります。広さがあり介助者が座る椅子があると助かります。	女性60代	母
	狭い。車いすのトイレが、一ヶ所しかないから困ることが多い。	女性40代	母

出典：介助・同伴が必要な高齢者の公共トイレ利用調査 TOTO調べ（2024）

トイレの設備に関すること

	フリーコメント	回答者	被介助者
異性介助	カーテンや介護者が待つためのベンチがあると助かる。	男性60代	母
	便器に向かうまでの手すりがあれば同伴者も楽になると思う。	男性20代	祖母
	照明が暗いところが多くもっと明るくても良い。	男性30代	祖母
	横になれるスペースの拡充。	男性60代	母
	非常用呼び出しボタンがあると万が一の時助かりますし、段差や溝を無くしてほしいです。	女性50代	父
同性介助	荷物置きが少ない、あっても小さい。床などの衛生面に配慮がほしい。	女性40代	祖母
	介護者が使いやすいトイレの設置。スペース・手すりの設置・大人用オムツ用ゴミ箱は必ず設置してほしい。	女性60代	母
	オムツ、パッド、おしりふき販売機があるとよい。	女性60代	母
	オムツ専用汚物入れを設置していただきたいです。	女性40代	母
	初めて使う場所は教えれば次からは一人で出来る。自動で流してくれると有り難い。	女性50代	母
	靴などを履かせる等の時に座れる席などがあるとうれしい。	女性70代以上	母
	自分が用を足したい時に、安全に待ってもらえる設備や場所があったら嬉しい。	女性40代	母
	尿取りパッドを交換時にそのままトイレの個室に捨てたいので、専用のゴミ箱を設置して欲しい。	女性30代	祖母
	多機能トイレの中に仕切りになるようなカーテン、パーティションがあるといいと思います。	女性50代	母
	荷物を直に床に置かず下におろしたいので、荷物棚ではなく低い位置に荷物置き場がほしいと思うことがたまにある。	女性50代	母
流すレバーがわかりやすい所があれば良い。単純な操作あるいは音声ガイドなど。	女性60代	母	

出典：介助・同伴が必要な高齢者の公共トイレ利用調査 TOTO調べ（2024）

2-5 意見・要望

利用に関すること

	フリーコメント	回答者	被介助者
異性介助	介助が当たり前で自然な姿であること。	男性70代以上	妻
	公共施設はほぼ問題ないが、特に民間の飲食店では設備が不十分なため、トイレの使用を控える場合が多い。または店舗の利用を回避する。	男性60代	母
	一人では、鍵のかけ方もわからないし、開けることもわからないので、必ず二人で入ることに抵抗はありませんが、他人の目が少し気になっている。	男性50代	母
	あまり他人のことは気にならないが、いずれは我が身と思って悠長に見守っていただきたい。	男性60代	母
	介護用トイレと明示してほしい。	男性70代以上	妻
	見た目で分かりにくい人でもトイレの介助が必要な人がいることをもっと知ってほしいです。	男性40代	母
	他人に気兼ねなく、使いたい。	男性70代以上	母
	健常者が入っていて、障がい者が利用できない時があるので困る。	女性60代	夫
同性介助	気兼ねなく利用したい。	女性60代	母
	介助者が入れるトイレが空いていないことも多く、そこでなくても大丈夫な人達が使っているのは残念だ。	女性60代	母
	理解が広がれば良いと思う。	女性40代	母
	健常者が車いす用使用者トイレを使用している事が多いので、必要な人が必要な時に利用できないで困る事がある。	女性50代	母
	必要ない者が利用するのを防ぐ方法がないものかと思う。啓発をもっとすべき。	女性50代	母
	必要な人が使えるように、健常者のまわりの人達の配慮が欲しい。	女性50代	母

出典：介助・同伴が必要な高齢者の公共トイレ利用調査 TOTO調べ（2024）

利用実態と困りごと

- ◆介助者は、便器までの歩行、手荷物の管理、声かけ、衣服の着脱、便座への立ち座り、鍵を開閉するなどの行為について介助や見守りを行っている。
- ◆外出先のトイレに困っているのは全体では54.3%、異性介助は同性介助に比べ困りごとを感じている人の割合がやや高い。
- ◆具体的な困りごとは、異性介助では「男女共用のトイレがないこと」が50.8%で多く、「2人で入る／車いすで入るにはブースが狭い」は異性介助、同性介助ともに困りごととして多く挙げられている。

車いす使用者トイレの利用と気兼ね

- ◆異性介助、同性介助ともに約7割が車いす使用者トイレを利用することがあると回答。
- ◆車いす使用者トイレの利用に37.4%が気兼ねを感じている。
- ◆車いす使用者などに気兼ねをしながら利用している。
- ◆介助が必要であることが見た目にわかりづらいため、周囲の目を気にしている。

男女共用トイレの利用意向

- ◆車いす使用者トイレ以外に男女共用個室トイレがある場合の利用意向は、異性介助が66.3%、同性介助が57.8%、同性介助にも男女共用トイレのニーズがあることがわかる。
- ◆男女共用トイレを利用したい理由は異性介助／同性介助とも「2人で入れるスペースがほしいから」が最も多い。異性介助では「男女共用だから」が65.0%で次いで多い。
- ◆設置してほしい設備としては手すりや荷物置き・フック、汚物入れなどが挙げられた。

高齢の親族の介助や見守りをするために、2人で入れる広めのトイレが求められている。異性介助の場合もあるため、男女共用で使えるトイレが必要とされている。車いす使用者トイレの利用には気兼ねすることから、別に広めの男女共用トイレを設けることが望ましい。

あしたを、ちがう「まいにち」に。

TOTO